

公益目的事業1(定款第4条)

頁

1. 男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供 (第1号)	(1) 図書資料の収集と提供	ア 図書情報室の運営	8	
		(2) 図書事業		ア ブックフェア及び市立図書館等との連携
	イ 男女共同参画パネル展と上映会			
	(3) 情報発信事業	ア インターネットでの情報発信		10
		イ 啓発誌・講座案内の発行		
		ウ ポスター掲示・広告掲載		
2. 男女共同参画社会の形成のための調査及び研究 (第2号)	調査研究	ア 「男女共同参画“はじめの一歩”BOOK」作成(隔年)	12	
3. 男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援 (第3号)	(1) 啓発事業及び学習支援	ア みんなで考える男女共同参画講座	13	
		イ 男性の家事・育児参画及び女性の就業継続支援講座	15	
		ウ 男性向け講座	17	
		エ DV予防講座	19	
		オ 正しい性の知識の普及・啓発	21	
		カ 女性の健康に関する理解促進		
		キ ジェンダー論基礎講座	23	
	(2) 企業・大学・地域との連携事業	ア 性暴力予防啓発事業	25	
		イ 女子大学生と考える女性活躍	27	
		ウ LGBT等居場所づくり(コミュニティスペース及び個別相談会)	28	
	(3) 教養・健康増進事業	ア 運動講座・うた講座・その他教養講座	30	
	(4) 保育事業	ア 事業参加者の保育・施設利用者の保育	31	

公益目的事業2(定款第4条)

		頁	
4. 男女共同参画に関する相談 (第4号)	(1) 相談業務	ア 女性のための相談	32
		イ 男性のための相談	
	(2) 相談事業	ア 大学相談室派遣事業	33
		イ 相談員研修	
		ウ DV被害者自立支援講座	34
		エ トラウマ・ケアの読書会	35
		オ 不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業	37
	(3) 関係機関連携 苦情・要望等処理制度の受付	ア 関係機関連携 苦情・要望等処理制度の受付	40

公益目的事業3(定款第4条)

		頁	
5. 男女共同参画に関する市民の 活動の支援及び相互交流の促進 (第5号)	(1) 地域コミュニティ活性化の促進 事業	ア センター利用者や地域との協働事業	41
		イ パープルリボンの取り組み他	43
	(2) 人材・団体育成事業	ア 市民活動サポート事業	45
		イ 防災リーダー育成事業	47
		ウ 共催・後援事業	49
		エ 講座受講者との相互交流	
	(3) 京都市男女共同参画センター の目的利用団体に対する施設 管理業務		51

収益事業

	頁
京都市男女共同参画センター の目的利用団体以外に対する 施設管理業務	53

財団運営

	頁
経営管理、組織・人事管理	54
財務運営	56

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供			条項	第1号
事業名	(1)図書資料の収集と提供／(2)図書事業			総務課	
講座名	(1)ア. 図書情報室の運営 (2)ア. ブックフェア及び市立図書館等との連携 イ. 男女共同参画パネル展と上映会				
目的	男女共同参画を推進する拠点施設としての情報収集・発信				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	980	966	14		

■事業の計画

1. 実施内容
<p>(1)男女共同参画に関する情報・資料の収集 図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施</p> <p>(2)ア. ブックフェア及び市立図書館等との連携(パネル展) イ. 男女共同参画に関するパネル展と上映会の実施</p>
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 若年層利用者の開拓に向けたSNSを活用した情報提供 ・ 外部へ向けた図書資料のパッケージレンタルの実施

■実績

- (1) 男女共同参画に関する情報・資料の収集
図書情報室利用者への適切なレファレンスの実施
＜別紙1＞「2024年度 図書資料の収集と提供」(p.59)
蔵書点検の実施 2月13日～21日
- (2) ア.ブックフェア及び市立図書館等との連携(パネル展)
- (ア) 男女共同参画週間
「だれもが どれも 選べる社会に」
6月6日(木)～7月8日(月)
- (イ) 国際ガールズデー
10月11日は「国際ガールズデー」 9月21日(土)～10月25日(金)
- (ウ) ミニブックフェアの開催
「小説を読もう！(ジェンダー＋フェミニズム)×小説」など 4回
- (エ) 京都市立図書館との連携
京都市市立図書館に、ブックフェアで使用したブックリストとパネルのデータを
提供した。
- ・ 男女共同参画週間 (8館)
 - ・ 国際ガールズデー (8館)
 - ・ パープルリボン月間 (1館)
 - ・ 国際女性デー2025 (15館)
- イ. 男女共同参画に関するパネル展と上映会の実施
- (ア) 男女共同参画パネル展の開催
男女共同参画週間 パネル展 6月11日(火)～7月1日(月)
- (イ) DVD映画上映会
- ・ 上映作品 「シンデレラ 3つの願い」
実施時期 6月14日(金)・15日(土) 4回上映 のべ50人
 - ・ 上映作品 「オフサイド・ガールズ」
実施時期 10月11日(金)・12日(土) 4回上映 のべ42人
 - ・ 上映作品 「この星は、私の星じゃない」
実施時期 3月7日(金)・8日(土) 4回上映 のべ44人

■概要と成果

施設の整備工事に伴い、11月18日から図書情報室を閉室し、電話、メールからの申し込みによる貸出とした。
閉館期間中においても、市立図書館へのブックリストやパネルのデータの提供等による連携、DVD映画上映会を実施し、情報提供に努めた。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する情報及び資料の収集、保存及び提供	条項	第1号		
事業名	(3)情報発信事業		事業企画課		
講座名	ア. インターネットでの情報発信 イ. 啓発誌・講座案内の発行 ウ. ポスター掲示・広告掲載				
目的	ICT(情報通信技術)及びその他ツールを利用した情報発信により、男女共同参画の促進を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	3,392	2,780	612		

■事業の計画

1. 実施内容

- ア. ホームページの更新(随時)
 メールマガジン「Wings Press」(月1回・号外)／Facebook・X・note(随時)
- イ. 啓発誌「男女共同参画通信」の発行 年2回 各17,000部
 講座案内「ウイングスきょうと」の発行 年6回 各7,000部
- ウ. DV啓発ポスターの掲示・新聞への広告掲載

2. 事業実施における課題

タイムリーな情報発信と社会の時流にのったテーマ設定

■実績

- ア. ホームページ 年間閲覧数295,975回／ユーザー数83,627人(うち新規74,992人)
- ・メールマガジン 登録者数3,179人
 - ・Facebook いいね数703人／フォロワー761人
 - ・X(旧Twitter) フォロワー数1,864人(42人増)
 1ツイートの最大インプレッション(表示回数) 100,000回
 - ・note「gender eye」1件記事を更新した。
- イ. (ア) 啓発誌「男女共同参画通信」 年2回発行(各17,000部)
- ・Vol.58「新しい女性支援のかたち—つながりながら歩みだす—」
 - ・Vol.59「女性も安心な これからの地域防災」
- (イ) 講座案内「ウイングスきょうと」 偶数月・年6回発行(各7,000部)
- ウ. DV啓発ポスターの掲示・新聞への広告掲載
- (ア)リビング京都新聞 10月26日号 京都市全域エリア 468,500部
 - (イ)京都市地下鉄の車内吊ポスター 270部 掲載期間11月1日～30日

■概要と成果

ア.ホームページ等

アクセシビリティJIS X 8341-3:2016「AA」準拠を維持している。

アクセスの約70%が44歳以下、特に25～34歳が27.4%と、若年層への情報提供に効果的であることが伺える。昨年度と比較すると、メールマガジンの登録者数が若干減少、Facebook、Xのフォロワーは微増であった。

新しいプラットフォームの活用等、より広く情報提供できる工夫を行っていきたい。

note

11月12日(火)～11月25日(月)に配信したパープルトーク「男性の性暴力被害を“ないこと”にしない社会のために」を視聴した参加者が考えた「性暴力のない社会のために、今からできること」をnoteに掲載した。

イ.(ア) 啓発誌「男女共同参画通信」

・Vol.58「新しい女性支援のかたち」では、女性新法により変わる支援のあり方や、困難な女性の状況を理解し支援につなげるために必要な情報をまとめた。京都の女性支援団体・居場所MAPは京都市情報館からも閲覧可となった。

・Vol.59「女性も安心な これからの地域防災」では、阪神淡路大震災から30年がたち、これまでに明らかとなった災害・復興時の困難と対策について、地域での取組のヒントとなる情報を提示し、女性の参画の重要性を伝えた。

(イ) 講座案内「ウイングスきょうと」

ウイングス京都で実施する講座・イベント・啓発誌発行の情報を掲載し、公共機関などに配布し、当センターの事業を広く周知した。

ウ. DVについて市民に広く周知するため、生活情報誌として発行部数が多いリビング京都の広告欄に「あなたがいつも我慢していませんか？チェックリスト」及び「11月パープル月間イベント」を掲載した。また、「パートナーとの関係は対等ですか？」と「男性のための電話相談」を掲載したポスターを京都市地下鉄に車内吊りし、DV防止を啓発した。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の形成のための調査及び研究	条項	第2号		
事業名	調査研究	事業企画課			
講座名	ア.「男女共同参画“はじめての一步”BOOK」作成(隔年)				
目的	男女共同参画の現状を市民に情報提供することや、ジェンダーの視点で調査分析を行うことで、男女共同参画を促進させる				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	410	295	115		

■事業の計画

1. 実施内容

「男女共同参画“はじめての一步”BOOK」発行 2,500部

2. 事業実施における課題

- ・ テーマに適するアンケート調査や最新データの把握
- ・ 読み手にとって分かりやすいデータの見せ方
- ・ 京都市における男女共同参画に関するアンケート調査との連携

■実績

データを通して国や京都市の男女共同参画の“今”を知れるブックレット「男女共同参画“はじめての一步”BOOK2024」を発行した。
発行部数(2500部) ページ数(24) 規格A4に変更

■概要と成果

- ・京都市「令和6年度男女共同参画市民意識調査」を元に、京都市や国の男女共同参画の現状をわかりやすく読み解ける構成を意識し、2022年度にリニューアルした親しみやすいデザインを踏襲し作成した。
- ・採用するデータを増やし、男女共同参画の課題を自分ごととして捉えて考えるための媒体としてより理解を深める内容とした。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	(1)啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	ア.みんなで考える男女共同参画講座				
目的	男女共同参画についての基礎知識を学び、自らのジェンダーに気づく講座を実施するとともに、男女共同参画の課題解決に向けた学習支援を行う				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	160	19	141		

■事業の計画

1. 実施内容
<p>(ア)定期開催 一般市民向け基礎講座(年4回 ウィングス京都にて実施)</p> <p>(イ)出前講座 企業・教職員・団体向け基礎講座(希望に応じてテーマ・会場を選定)</p> <p><講座テーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男女共同参画とは ・ 男女平等教育を考える ・ DVを知る・考える ・ セクシュアル・ハラスメント ・ 働くあなたのワーク・ライフ・バランス ・ 防災と男女共同参画 ・ LGBTってなに？
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切に男女共同参画の基礎を解説できる人材の育成 ・ 資料等内容のアップデート

■実績

年間29回の講座を実施し、663人の参加となった。また講座とは別に22件の学習相談に応じた。

<別紙2>「令和6年度『みんなで考える男女共同参画講座』実施一覧」(p60)

■概要と成果

(ア) 定期講座

一般市民のほか、京都市男女共同参画推進員の研修の機会として推進員にも参加を働きかけた。「男女共同参画“はじめての一步”BOOK」をテキストに、データなどを見ながら基礎的な知識を伝えるとともに、ワークを用いることでさらに理解が深まるようにした。

(イ) 出前講座

昨年に続き大学や行政からの基本の講義内容とは異なる依頼(有償対応)や少人数を対象とした依頼が増加した。中でも助産学・看護学生の臨地実習として依頼される「ジェンダーとDV」については、7年前から継続して依頼があるが、今年度は新規の大学から5枠の依頼があり、次年度も引き続き依頼があった。防災をテーマとする依頼のうち、地域の役割を持つ市民を対象とした依頼は、防災リーダー養成講座として実施した。ハラスメントやワークライフバランスをテーマとした職場研修では、互いを尊重し、多様な価値を受容する職場になるために何が必要かを考え、参加者のモチベーションを高めることができた。今後も新たなニーズへの対応を積極的に行い、より効果的な学びの場を提供していきたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援			条項	第3号
事業名	(1)啓発事業及び学習支援			事業企画課	
講座名	イ.男性の家事・育児参画及び女性の就業継続支援講座				
目的	男性が家事・育児を行うことは、女性の就業継続支援にもつながるため、男性女性それぞれがその重要性を知り、ワーク・ライフ・バランスやキャリアを考える機会とする				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	400	314	86		

■事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性が家事・育児分担や今後の生活を見直す ・ 女性が育休復帰で抱える不安の解消と今後のキャリアについて考える
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の家事・育児への参画の促進 ・ 女性の就業継続への意識付け

■実績

ワーキングペアレンツに贈る子育て応援セミナー
～育児・育休期間をチカラに変える！～

【対象】産休、育休を取得中・取得予定の方、0歳～小学校低学年までの子どもの親、
パートナー又は周囲と協力して子育て、仕事をしたい方

回数(3)+動画公開 定員(40) 応募者数(60) 参加者数(11組 単身(30))
のべ参加者数(52) 定員充足率(43%)

第1回 子育てが楽しくなるコミュニケーション術

参加者数(15) 4組 単身(7)

【日時】6月22日(土)10:00～12:00

【講師】岩谷けいこ(ライフキャリアコーチ)

第2回 子育てをキャリア、仕事に活かす

参加者数(13) 1組 単身(11)

【日時】7月6日(土)10:00～12:00

【講師】赤坂美保(起業家/子連れMBA®ファウンダー)

【ゲスト】吉田雄史(鉄道会社の総合職)

第3回 子育て中のタイムマネジメント

参加者数(24) 6組 単身(12)

【日時】9月8日(日)10:00～12:00

【講師】岡野優子(子育て世代のキャリア支援団体ドウマビ代表・株式会社堀 社員
・平安女学院高等学校講師)

申込者限定で各回の内容を15分程度の動画にまとめ配信

【配信期間】6月27日(木)～9月24日(火)

再生回数: 第1回(43)、第2回(36)、第3回(48)

動画公開

申込者限定で配信した各回内容をまとめた動画を一般公開した。

【配信期間】12月17日(火)～1月31日(金)

再生回数: 第1回(95)、第2回(65)、第3回(95)

■概要と成果

ワーキングペアレンツのこれからのキャリアや生き方を考える3つのテーマで開催した。今年度より性別に関わらず参加できる講座となり、カップルでの申し込みが多かった。ワークでは積極的な発言が見られ、性別役割分担ではなくパートナー同士の協調が重要であることを学んだ。コミュニケーション術やタイムマネジメントがテーマの回は特に注目度が高く、受講生は真剣に耳を傾けていた。今回初めて講座内容のポイントをまとめた動画を作成し、参加者に配信した。また12月より約2ヵ月間その動画を一般公開したが、参加者以外へのアプローチによりウイングス京都の講座に関心を持つ人の幅を広げることが出来た。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	(1)啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	ウ.男性向け講座				
目的	男性がジェンダー問題に向きあい、自身のあり方を見つめ直す機会を提供する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	250	159	91		

■事業の計画

1. 実施内容

男性が参加者同士の語り合いを通して、自身のジェンダーバイアスに気づき、ジェンダーにとらわれない生き方を探る

2. 事業実施における課題

- ・ 男性の参加につながる広報
- ・ 男性が安心して語れる場づくり

■実績

男性のための“がんばらない”コミュニケーション(全3回)
 申込数のべ(47) 参加者数のべ(38) 定員充足率(84%)
 男性が、会話やコミュニケーションにおける「こうあるべき」をゆるめて人の話を聴き、自分の経験や思いを語ることを通じて、身近な人とより豊かな関係を築くためのヒントを得たり、ジェンダーに起因する生きづらさや内面化された規範に気づき、見直すきっかけとなる講座を実施した。

【ファシリテーター】足達龍彦(場づくりカレッジ「えすけーぷ。」代表)

1日目「スパイスカレーで癒される！」

スパイスカレーを作って食べて。みんなでゆったり、自分にとっての癒しを話そう。

【日時】3月2日(日)11:00~14:00

【ゲスト】山本和則(余白製作所)

定員(15) 応募者数(12) 参加者数(10) 定員充足率(67%)

2日目「男のしんどさってなんだ？」

しんどいコミュニケーションに潜むジェンダーの思い込みとは？

【日時】3月16日(日)13:30~15:30

【ゲスト】山本和則(余白製作所)

定員(15) 応募者数(18) 参加者数(15) 定員充足率(100%)

3日目「ネガティブな気持ちとケア」

生きるのをちょっとラクにする！モヤモヤの語り方

【日時】3月30日(日)13:30~15:30

【ゲスト】あしたば(ぼくらの非モテ研究会)、ハーシー(ぼくらの非モテ研究会)

定員(15) 応募者数(17) 参加者数(13) 定員充足率(87%)

■概要と成果

20代から70代まで幅広い申込があり、“がんばらない”“癒し”というフレーズに惹かれたという意見が多くきかれた。参加の動機は、「語り合いに参加したい」67%、「ジェンダーに関心があって」52%、「コミュニケーションの改善」43%の順に多かった。

参加された方の多くが、普段は話題にしづらい「弱さ」について、個人的な経験や考えを話せる場を求めており、アンケートからも、自らの「弱さ」について話した時に共感・受容されることで得られる“楽になる感覚”を提供できたことが確認できた。今後も定期的に語り合いの場を設け、ジェンダーに基づいた男性の課題を掘り起こしたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	(1)啓発事業及び学習支援	事業企画課			
講座名	エ.DV予防講座				
目的	DVの根絶のために、若年層に向けたデートDV予防教育や支援に携わる関係機関の職員等に向け、DV予防について啓発を行う				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	221	170	51		

■事業の計画

1. 実施内容
関係機関や中学校・高校等と連携しDVやデートDVの予防講座を実施する
2. 事業実施における課題
啓発先の拡充、対象となる機関との連携

■実績

<p>デートDV予防講座</p> <p>(ア)いい人間関係になるコツを学ぼう～デートDVの話を中心に～ 回数(1) 参加者数(70) 【日時】7月9日(火)10:45～12:35 【講師】伊田広行(非暴力ルーム大阪NOVO・立命館大学非常勤講師) 【対象】京都市立醍醐中学校 2年生64人・教員6人</p> <p>(イ)あなたも加害者になるかもーDV加害者の発想を学んで、DVしない人になろうー 回数(1) 参加者数(71) 【日時】11月17日(日)10:50～12:30 【講師】伊田広行(非暴力ルーム大阪NOVO・立命館大学非常勤講師) 【対象】京都府立朱雀高等学校通信制 1～4年生61人・教員10人</p> <p>(ウ)デートDVの理解と対等な関係性 性の権利とウェルビーイングの保障のため 回数(1) 参加者数(71) 【日時】11月19日(火)13:35～14:20 【講師】関口久志(“人間と性”教育研究協議会幹事、元京都教育大学教授) 【対象】京都府立奏和高等学校 定時制 単位制普通科2年生61人・教員10人</p> <p>(エ)デートDVの理解と対等な関係性 性の権利とウェルビーイングの保障のため 回数(1) 参加者数(78) 【日時】12月17日(火)18:00～19:30 【講師】関口久志(“人間と性”教育研究協議会幹事、元京都教育大学教授) 【対象】京都府立朱雀高等学校定時制 高校生 1～4年生58人・教員20人</p>

(オ)デートDV予防学

回数(1) 参加者数(128)

【日時】3月6日(木)10:50~11:50

【講師】伊田広行(非暴力ルーム大阪NOVO・立命館大学非常勤講師)

【対象】京都市立西京高等学校附属中学校 2年生116人・教員12人

■概要と成果

(ア)(オ)は中学生を対象に実施した。DVの基礎知識、アサーティブに伝える方法を解説し、あらゆる人間関係に通じることとして、互いを尊重すること、自分の意見を言っても否定されず安全安心な関係をつくることの大切さを伝えた。特に(ア)は、生徒が教員のロールプレイを見たり、ワークショップで考えたことにより、深い学びを得られた。

(イ)(ウ)(エ)は高校生を対象に実施した。デートDVの事例紹介・予防方法・支援機関の紹介や性的自己決定権とその尊重について解説し、対等で心地よい関係をつくる方法を伝えた。特に(イ)では生徒からの切実な質問が多かったことで、教員自身がDVの知識を正しく得ることの必要性に気づいた。(エ)は、90分の講座で時間に余裕があったため、ワークショップを7回と通常より多く実施できた。そのため生徒同士で多くの課題について話し合うことができ理解がより深まった。

ジェンダーバイスト・バイオレンスを理解した若手講師の発掘が課題であるため、注力したい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	(1)啓発事業及び学習支援		事業企画課		
講座名	オ.正しい性の知識の普及・啓発／カ.女性の健康に関する理解促進				
目的	男女がお互いの身体的特徴を理解し、お互いに尊重し、健やかに社会で暮らすことができるよう、若い世代から性に関する正しい知識の普及啓発を行うとともに、女性の健康に対する社会全体の理解を促進する。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	191	122	69		

■事業の計画

1. 実施内容
<p>オ.若い世代から性について正しく理解することができるよう周囲の大人が性の正しい知識を学べるワークショップを実施する。</p> <p>カ.男女がリプロダクティブ・ヘルス/ライツを理解するとともに、働く女性がライフステージに応じた健康を考えられる機会を増やすため、女性の健康に関する事業者向けの啓発を行う。</p>
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 包括的な内容の性教育 ・ 生活の場(家庭、地域、職域、学校)を通じた社会全体で女性の健康を支援するための理解促進

■実績

オ.大人だって分からない?!子どもたちの“性”の疑問にどうこたえる?ワークショップ
～避妊編～

回数(2) 定員(30) 申込者数(44) 1日目参加者数(30) 2日目参加者数(24)
のべ参加者数(54) 定員充足率(90%)

【日時】7月13日(土)14:00～16:00・27日(土)14:00～16:00

【対象】思春期の子どもと関わる機会のある大人

【講師】山村 和恵(立命館守山中学校・高等学校 養護教諭)
神保ゆうこ(株式会社ネクイノ スマルナステーション相談員)

【内容】1日目:“いま”の知識にアップデート! 避妊の現状を知る
2日目:一緒に考えよう! ディスカッション

カ.働く女性の健康課題～誰もがいきいきと活躍できる職場を目指して～

(京都市の第4回企業向け人権啓発講座として実施)

回数(1) 定員(60) 参加企業数(32) 参加者数(34) 定員充足率(56%)

【日時】12月5日(木)14:00～16:30

【場所】世界人権問題研究センター多目的スペース(京都市立芸術大学内 A棟7階)

【対象】京都市内に事業所のある企業等の経営者、総務・人事責任者、
人権研修推進者等

【講師】後藤友美(株式会社SUSTAINABLE ME 代表取締役、作業療法士、
健康経営エ キスパートアドバイザー)

亥子勝高(川十株式会社 代表取締役社長)

【内容】第1部 講演 女性の健康課題について
女性のライフステージと健康課題や男性の更年期症状、企業の健康経営
などについて
第2部 事例紹介
自社の健康経営の取組について

■概要と成果

オ.避妊をテーマに基礎知識の講義と、 Condom に実際に触れるワークショップを行い、
知識の アップデートと、知っている知識を改めて確認する機会となった。各回、講義
とディスカッションを行ったが、ディスカッションでは子どもたちと接する際の困りごとや
不安を参加者同士で共有できた。異なる立場から性教育に係る講師に出講いただいた
ことにより性に対する捉え方、考え方が多様な事を示すことができた。1日目に比べ
2日目の出席が振るわなかったことから、日数や全体の構成に工夫が必要だと感じ
た。

カ.テーマに関心を持って多くの企業が参加された。講演+事例紹介という構成がイン
プット+アウトプットの流れで分かりやすく、満足度の高さにつながったと考えられる。
第1部について、テーマが幅広いため、講演時間では説明しきれていないところもあり、
物足りなさを感じられた方の声もあった。その声を今後の内容検討に生かしたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	(1)啓発事業及び学習支援		事業企画課		
講座名	キ.ジェンダー論基礎講座				
目的	日常に潜む違和感についてフェミニズムやジェンダーの視点で考える				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	300	182	118		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ テーマに沿った専門家による有料連続講座(全3回～4回)
- ・ 専門家の講義部分のみ、後日有料配信

2. 事業実施における課題

- ・ テーマの内容について新しい視点を持った研究者の発掘
- ・ 若年層を取り込むための工夫

■実績

テーマ:ジェンダー×表象 —近すぎて気づけない“表現”のバイアスとは?—
回数(3)

・会場参加:講義+ワーク&交流 受講料(一般5,700円、U25 5,200円)
定員(25) 応募者数(19) のべ参加者数(42) 定員充足率(56%)

・オンライン参加:講義部分を後日配信(録画視聴) 受講料(5,200円)
定員なし 応募者数(34) 参加者(34)*入金された方を参加者とみなす
後日配信3回分ののべ視聴回数345回(会場参加者の後日配信の視聴含む)

第1回女性が描く女性とは?—近代京都の女性画家たちから読み解く—

参加者数(16) 視聴回数(109)

【日時】1月26日(日)13:30～16:00

【講師】長尾衣里子(京都市京セラ美術館学芸員)

第2回ファッションとジェンダー・イメージ

参加者数(15) 視聴回数(139)

【日時】2月23日(日)13:30～16:00

【講師】平芳裕子(神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授)

第3回アニメキャラクターのジェンダーとは何か?

参加者数(11) 視聴回数(97)

【日時】3月23日(日)13:30～16:00

【講師】石田美紀(新潟大学大学院現代社会文化研究科教授)

■概要と成果

第1回は、明治から昭和にかけて京都画壇で活躍した女性画家たちの作品を紐解き、同性ならではの視点でとらえた女性像について考えた。第2回は、時代とともに移り変わるファッションとジェンダー・イメージを見ながら、現代のファッションを取り巻く規範の成立について考えた。また、第3回は、日本のアニメに定着している女性が少年を演じる配役に注目しながら、姿と声、キャラクターと声優の組み合わせが示唆する人間の在り方の多様性を考察した。今回は「表象」がテーマで身近に感じたからか、10代～80代まで幅広い方が受講した。ジェンダー論基礎講座を開催して4回目となるが、今回初めて10代の受講があり、4人受講した。また、10代～20代の受講は10人で全体の約2割を占めた。講座開設当初から、これからの社会を担う若い世代にジェンダーを基礎から学んでもらいたいという思いがあり、今回はそれにつながる結果となった。今後もテーマなどを工夫し、若い世代の受講につなげたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	(2)企業・大学・地域との連携事業		事業企画課		
講座名	ア.性暴力予防啓発事業				
目的	大学生と教職員等が性暴力とは何かを理解し、性暴力を容認しない風土を醸成するとともに、ハラスメントや性暴力が起こりそうな場面で被害を未然に防いだり、最小限にとどめる行動(第三者介入)をとれるようになることをめざす				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	350	387	△ 37		

■事業の計画

1. 実施内容
京都市内の大学と連携し、性的同意と第三者介入を学ぶワークショップを行う
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学との連携と協力(学生参加者の確保) ・ ワorkshopを実施できる職員の育成

■実績

<p>学校法人ヴィアートル学園洛星中学校 洛星高等学校の協力を得て男子生徒を対象に2回実施した。</p> <p>第1回「性的同意&第三者介入ワークショップ」 定員(20) 参加者数(14)(生徒9人、教員5人) 定員充足率(70%) 【日時】12月16日(月)13:45~15:55(10分休憩含む) 【対象】中学2年生~高校3年生、教職員 【講師】「性的同意」 公益財団法人京都市男女共同参画推進協会職員 (WWSC Sexual Consent Facilitator) 「第三者介入」 山本 潤(茨城県立医療大学助教・看護師・保健師・公認心理師) (トレーナーパートナー) 修(精神保健福祉士、公認心理師) (サポーター) 公益財団法人京都市男女共同参画推進協会職員</p> <p>第2回「性的同意&第三者介入ワークショップ」 定員(20) 参加者数(18)(生徒16人教員2人) 定員充足率(90%) 【日時】3月15日(土)13:00~15:00 【対象】中学3年生、高校3年生、教職員 【講師】第1回に同じ</p>

■概要と成果

これまで市内の大学と連携し大学生を対象に実施してきたが、今年度は早期教育の必要性から中学生・高校生を対象に実施した。
今回は特にジェンダーに関する理解や共感が不足しやすいとされる中高一貫の男子校での実施であったが、参加者は積極的にワークにも取り組んでいた。
参加者は性的同意の取り方や第三者介入の手法を学ぶワークショップを通し、「性的なこと」以外でもお互いを大切にするために「同意」や「介入」が必要であることを学んだ。
今回の取り組みは好評で、学校側としても学内で取組を継続していくための学びになったと評価いただいた。
生徒を対象とした取組では、授業の一環とし多数を受け入れるのか、有志を募るのかによってサポート体制が異なるため、今後はプログラムやサポーター養成も含めどのような形態で実施していくのかが課題である。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	(2)企業・大学・地域との連携事業		事業企画課		
講座名	イ.女子大生と考える女性活躍				
目的	働き方の選択肢や視野を広げ、キャリアについて考える場を提供し、大学との協働により男女共同参画の加速化をめざす				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	200	57	143		

■事業の計画

1. 実施内容

企業で活躍する女性ロールモデルによる座談会を開催し、ロールモデルと女子大生が直接交流できる場を提供する

2. 事業実施における課題

- ・ 大学との円滑な連携
- ・ 「就職」に重点を置いたセミナーではなく、視野を広げ、働き続けることに意味を見出す機会とする

■実績

座談会 & ロールモデルとの交流会

自分が決める 私のキャリアとライフスタイル

回数(1) 参加者数(26)

【連携大学】京都光華女子大学

【日時】7月10日(水) 14:30~16:00

授業「女性と現代社会」(2年生以上の選択科目) 担当:加藤千恵名誉教授

2年生(18)、4年生(8) 合計(26)

【モデレーター】 円城新子(株式会社ユニオン・エー 代表取締役社長)50代

【ロールモデル】 ①鈴木穂乃(株式会社ユニオン・エー ディレクター)20代

②山本夕紀(日本生命保険相互会社 京都営業部 支部長補佐)30代

■概要と成果

20代のロールモデルは価値観の多様性、30代のロールモデルは仕事と育児の両立、50代のモデレーターからは「就職だけでなく起業の選択肢がある」ということが語られた。学生達はロールモデルの話に熱心に耳を傾け、交流会においても多くの質問が出た。質疑応答を通して、ロールモデルの経験やその時々を思いをさらに深掘りできたことで、学生たちが、視野を広げ、働くことやキャリアについて考えることにつながった。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援		条項	第3号	
事業名	(2)企業・大学・地域との連携事業		事業企画課		
講座名	ウ.LGBT等居場所づくり(コミュニティスペース及び個別相談会)				
目的	LGBT等の当事者やその周囲の人のための居場所づくり				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	270	200	70		

■事業の計画

1. 実施内容

LGBT等の当事者やその周囲の家族や友人等が理解ある空間で集う場
「京都まあぶるスペース」を関係団体と連携し、提供する(4回程度)
また、併せて個別相談会を実施する

2. 事業実施における課題

- ・ ニーズにあったテーマ選択
- ・ 関係団体との円滑な連携
- ・ 市民ぐるみ「多様な性の在り方が尊重される京都」推進ネットワークとの連携

■実績

京都まあぶるスペース&個別相談会

第1回 ライフストーリーを聞く

回数(1) 定員(20) 応募者数(15) 参加者数(10) 定員充足率(50%)
個別相談(1)

【日時】6月15日(土)14:00~16:00

【講師】 いよたみのり(特定非営利活動法人MixRainbow 理事長)

【対象】 LGBT等の当事者又はそうかもしれない方、
LGBT等について理解を深めたい方、ご家族、支援者

第2回 パートナーシップ宣言制度について

回数(1) 定員(20) 応募者数(10) 参加者数(9) 定員充足率(45%)
個別相談(2)

【日時】 8月24日(土)14:00~16:00

【講師】 井上ひとみ(特定非営利活動法人カラフルブランケッツ理事長)

【対象】 LGBT等の当事者又はそうかもしれない方、
LGBT等について理解を深めたい方、ご家族、支援者

第3回 恋愛

回数(1) 定員(20) 応募者数(1) 参加者数(1) 定員充足率(5%)

個別相談(2)

【日時】 11月17日(日)14:00~16:00

【講師】 本多まさ(プライドプロジェクト 代表)

【対象】 10代から23歳までのLGBT等の方、又はそうかもしれない人

第4回 「アライ」の声を聞いてみよう (アライ:LGBT等の当事者を理解し、支援する人)

回数(1) 定員(20) 応募者数(11) 参加者数(10) 定員充足率(50%)

個別相談(2)

【日時】 1月19日(日)14:00~16:00

【講師】 ファシリテーター山本超基(関西アライモ実行委員長)

【対象】 LGBT等の当事者又はそうかもしれない方、
LGBT等について理解を深めたい方、ご家族、支援者

各回の個別相談は、まあぶるスペースと同じ日に時間帯を15時・16時とずらして、1人50分間実施した。

■概要と成果

第1・2・4回は、10名前後の参加があり、受講生はファシリテーターやスタッフと十分な意見交換ができていた。第3回のテーマを恋愛、対象を10代から23歳までに絞ったため、参加者がかなり少なかった。次回からテーマ・対象の設定を変更することを検討する。

第4回のアライをテーマにした回では、アライとして活動するようになったきっかけや、現在の活動について話したが、質疑応答でLGBT等の当事者とアライの関係性について、具体的な質問が数多く出ており、関心の高さがうかがえた。

個別相談は、今年度から、まあぶるスペースの後に相談できる時間帯を設けたところ、第2~3回は、満員になった。相談だけを望む方がいたり、キャンセル待ちのある回もあったのでニーズが高いことがわかる。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	(3)教養・健康増進事業	事業企画課			
講座名	ア.運動講座・うた講座・その他教養講座				
目的	生涯にわたり健康と生きがいを維持できるよう、市民のニーズに応えたさまざまな講座を開催する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	6,870	6,839	31		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 運動講座(8コース×3期=24コース)
- ・ うた講座(5コース×3期=15コース)
- ・ 朗読講座(1クラス×2期)

2. 事業実施における課題

- ・ リピーターによる受講者の確保
- ・ 新規受講者の獲得

■実績

〈別紙3〉「運動実技講座・うた講座・朗読講座」(p61～64)

■概要と成果

・運動実技講座

「ピラティス」3講座は定員充足率100%と安定している。定員に空きがある講座に対し、7月に「コンディショニングフローヨガ」、11月に「気功」「陰陽ヨガ」のお試し体験Dayを実施したところ、受講生増につながり定員を充たすことができた。どの講座も満員か満員に近い受講生を確保出来ているため、この状態が続くよう努める。

・うた講座

今年度から定員を35名に増やしたところ、「ジャズ」「愛唱歌」は受講生が増えて3期とも30名を超えた。「ゴスペル」についてもそれに近い人数を確保できている。SNSによる新規受講生の募集も効果があった。「コーラス」は新しい講師に変わったところで、30人を超えることはなかったが、受講生の満足度は高いため、リピーターの確保と新規受講生が増えるよう広報を強化する。

・朗読講座

講座の締めくくりである「小さな朗読発表会」は満員となり、受講生の満足度も高く、次期講座の問い合わせにもつながった。定員8～9割の安定したクラス運営を維持できているが、高齢化による入れ替わりがあるため、引き続き新規参加者を確保していきたい。

公益1	(単位:千円)				
定款	男女共同参画社会の実現を目指す取組の普及促進のための広報、啓発及び学習支援	条項	第3号		
事業名	(4) 保育事業	事業企画課			
講座名	ア.事業参加者の保育・施設利用者の保育				
目的	講座保育・一時保育事業行い、子育て中でも安心して学習や研修に参加、あるいは相談室利用ができる環境を提供する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	700	133	567		

■事業の計画

1. 実施内容

事業参加者の保育／施設利用者の保育
4ヵ月以上就学前までの子ども対象

2. 事業実施における課題

保育委託先との体制の確立と円滑な連携

■実績

〈別紙4〉「保育事業」p65

■概要と成果

2023年度末で解散した保育グループマザーグースに代わり、(公社)シルバー人材センターと協働し、保育を行った。

全体の保育実施件数が前年度から118件減少し、2024年度の保育件数は58件となった。内訳としては講座保育は54件、一時保育は4件。そのうち、相談保育は1件だった。保育した子どもの人数は78人で、前年度の234人から大幅に減少した。減少の要因として、運動講座や相談事業の保育人数が減ったことと、子育て世代対象の講座(シングルマザー向け講座など)が減少したことが考えられる。

- ・主催事業受講者の保育(保育対象年齢:4ヵ月以上就学前)
京都市からの受託事業、および自主事業に対して保育を実施した。
- ・施設利用者の保育(保育対象年齢:4ヵ月以上就学前)
図書情報室・相談室など、京都市男女共同参画センター利用者に対し、保育を実施した。
- ・運営会議
月1回保育担当者が、シルバー人材センターと運営会議を行い、保育について情報共有し、安心・安全な保育が実施できるようにした。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	(1)相談業務	事業企画課			
講座名	ア.女性のための相談／イ.男性のための相談				
目的	男女共同参画に関わる市民の多様な相談ニーズに対応し、相談者自身が悩みの背景を認識し、自己を肯定して問題解決を図っていけるようサポートする				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	15,515	16,592	△ 1,077		

■事業の計画

1. 実施内容

ア.女性のための相談
 (電話・面接・女性への暴力相談・法律相談)
 イ.男性のための相談
 (面接・電話相談)

2. 事業実施における課題

- ・ 多様化する悩みに適切に対応するスキル習得
- ・ 男女共同参画の視点を持った相談員の育成

■実績

種類		2024年度	2023年度	前年比
女性のための 相談	電話	920	872	106%
	予約電話	127	116	109%
	面接	522	671	78%
	法律	39	40	98%
	女性の暴力	68	98	69%
	合計	1676	1797	93%
男性のための 相談	電話	53	36	147%
	予約電話	56	65	86%
	面接	146	132	111%
	合計	255	233	109%
合計		1,931	2,030	95%

■概要と成果

- ・2024年度の相談件数は1,931件を受理し、前年比95%となった。男性相談では電話相談が前年比147%、面接相談では111%といずれも増加した。好事例や困難なケースに関しては日々の受理会議で共有し、さらにスーパービジョンで検討するなど相談員のスキルアップを図った。また社会の状況から相談に関する新たなニーズを把握し、関連書籍やオンライン研修の場を提供した。
- ・2024年度の実績を各相談ごとに分析し報告書にまとめた。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	(2)相談事業	事業企画課			
講座名	ア.大学相談室派遣事業／イ.相談員研修				
目的	ア.大学内の相談室に相談員を派遣し、相談者の問題解決を支援する イ.相談員のスキルアップを図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	1,620	716	904		

■事業の計画

1. 実施内容
<p>ア.佛教大学の委託を受け、学生や教職員対象のハラスメント相談室に相談員2名を派遣する(月5～6回)</p> <p>イ.相談員を対象にグループスーパービジョンや研修を実施する 男性相談に特化したスーパービジョンの実施</p>
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまなハラスメント事例に対応できる職員の体制づくり ・男女共同参画の視点での問題解決の落とし込み

■実績

<p>ア(ア)佛教大学においてハラスメント相談室に来所する学生・教職員の相談に対応するため、2名の相談員を派遣した。(木・金曜日 各月3回 12:30～16:30)</p> <p>(イ)大津市男女共同参画センターの電話相談業務を落札し受託した。 (毎週木曜日 10:00～16:00)</p> <p>イ(ア)外部研修<別紙7>「2024年度研修一覧」(P69)</p> <p>(イ)内部研修 新任相談員研修／スーパービジョン(10回 13:30～15:30)</p>

■概要と成果

<p>ア(ア)佛教大学ハラスメント相談室において、学生や教職員の相談に応じた。また、学内での相談を躊躇した方がウイングス京都の相談室を利用されたりと、波及効果がみられた。</p> <p>(イ)大津市男女共同参画センターの電話相談を転送電話にて対応し157件を受理した。</p> <p>イ(ア)オンデマンド配信の研修が多かったため効率的に学ぶことができた。</p> <p>(イ)・新任相談員に対し実習も含め10日間の研修期間を設定し育成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員対象にスーパーバイザーの指導にてグループスーパービジョンを10回実施した。 ・男性相談員・女性相談員を対象に外部講師を招きナラティブアプローチに関するワークショップを実施した。 <p>男性相談の事例をもとにナラティブアプローチといった新しい手法を学ぶ機会となりこれまでのアプローチに幅が広がった。</p>
--

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	(2)相談事業	事業企画課			
講座名	ウ.DV被害者自立支援講座				
目的	DV被害者が、専門家の助言を得ながら、当事者同士で語り合い、互いに受容しあうことを通して、人が本来持つべき自尊感情を取り戻すことにより、心身の回復を促す				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	230	127	103		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 講義とアドバイザーを交えたグループでの語り合い(全3回)
- ・ 必要に応じてアフター会を実施(3回程度)

2. 事業実施における課題

- ・ 潜在的な対象者へのアプローチと参加者確保
- ・ 関連機関との連携

■実績

「わたしが私でいるために」

回数(3) 定員(15) のべ参加者数(18) 定員充足率(40%)

【日時】6月29日(土)・7月13日(土)・7月27日(土)10:00~12:00

【対象】DV被害を受けた女性で加害者と別居中の方

【講師】竹之下雅代(ウィメンズカウンセリング京都)

【内容】①わたしの身に起きたこと~DVを理解する

②わたしは大切な存在~自己尊重を学ぶ

③わたしは「私」~私の力を取り戻す

アフター会

回数(3) のべ参加者数(2)

【日時】9月21日(土)・10月26日(土)・11月16日(土)10:00~12:00

【講師】竹之下雅代(ウィメンズカウンセリング京都)

■概要と成果

今年度は参加者が6名と振るわなかった。参加者の参加目的や自身の状況が似通った方々が複数名いる場合には比較的スムーズにグループ化が進むが、今回はグループ化に至らなかった。ほとんどの参加者は他にカウンセリングやグループに属しており、自身に起こったことを「言葉」にすることへのハードルは低く、特に講座終了後に語り合いの場を求めているのかも知れない。それらを踏まえ今後の講座の内容についても検討が必要である。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	(2)相談事業	事業企画課			
講座名	エ. ト라우マ・ケアの読書会				
目的	DVその他の性暴力を含む被害によりトラウマを抱えている人を対象に、読書と感想の共有を通して心身の回復を促すとともに、安心して集える「居場所」を提供する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	380	269	111		

■事業の計画

1. 実施内容
読書を通じて、トラウマの影響や自分を大切にセルフ・ケア等を学ぶ
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者にとって安心・安全な場の提供 ・ 関連機関との連携

■実績

<p>【日時】日時は参加者のみに通知(8月と1月を除く月1回)全10回 回数(10) 定員(15) のべ応募者数(133) のべ参加者数(88) 定員充足率(59%) 年齢構成割合 20代後半～70代前半まで 過去のDVや性暴力の被害によりトラウマを抱えている女性を対象に、専門家の立会いのもと読書を通じて心身の回復を図るとともに、中長期支援の観点から1年を通じて被害者が安心して集える「居場所」を提供し、当事者のゆるやかなつながり作りに取り組んだ。</p> <p>テキスト 『13歳、「私」をなくした私～性暴力と生きることのリアル～』山本 潤／著 朝日新聞社 『トラウマのことがわかる本』白川 美也子／監修 講談社</p>
--

■概要と成果

安心・安全感を持ってもらえることを最も大切にして運営した。整備工事のため約半年間ロビーが閉鎖されたことで、来館での申し込みが減少した。申し込みの際、不安定な状態であったり、講座に参加できる状況ではない方の見極めや適切な支援につなぐ必要性の判断については、相談室との連携で対応した。

参加者は当日の遅刻や欠席が多くなりがちだが、強制せず参加者の状況を受容することで「いつでも受け入れてもらえる場所がある」という、安心感を与えている。ただ、何度も申し込みながら一度も参加できない方も一定数おられ、被害と向き合うことの困難さを感じる。

参加者それぞれの回復状態が異なる中、互いの経験を過度に聴いて不安を感じることがないように「読んだ内容」についての感想を話すことを前提とし、適度に自己開示しつつ安心・安全な場を維持することができた。

トラウマ・ケアを目的とした読書会は他にない取り組みとして、他府県からも問い合わせがあり、次年度のフェミニストカウンセリング学会で事例発表の機会も得た。これからも安心してゆるやかに仲間や支援とつながれる場を維持し、回復を支えていきたい。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	(2)相談事業	事業企画課			
講座名	オ.不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業				
目的	コロナ等による孤独や孤立で不安や困難・課題等を抱える女性に寄り添い、社会とのつながりを回復する。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	5,150	5,150	0		

■事業の計画

1. 実施内容
不安を抱える女性に寄り添った相談事業、またその一環として、居場所づくり事業と支援団体の勉強会&情報交換会を実施する。
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象に届くための効果的な広報 ・ 対象に適した情報提供や居場所の提供 ・ 支援団体同士の連携

■実績

(ア)つながる相談室の実施

【実施期間】2024年4月1日(月)～2025年3月31日(月)

【受案件数】140件

(イ)つながるスペース

・勉強会&情報交換会「女性新法で京都の支援はどう変わる」

回数(1) 参加団体数(21) 参加人数(31) ※女性支援に関わる団体に案内

【日時】7月11日(木)10:00～12:30

【対象】主に女性を対象とした居場所づくりや支援を行う団体

【講師】女性相談支援員(京都市職員)

【内容】・ゲストトーク「京都市女性のための相談支援センター(みんと)」開設後の状況について

・参加団体の取組紹介

・グルーptーク 普段の支援の様子、支援をめぐる課題、連携の可能性

・全体共有 各グループで話した内容を共有

・メーリングリスト立上げ

・女性のための健康と暮らしの相談セミナー

自分をいたわるセルフ・モニタリングのすすめ

回数(1) 定員(30) 応募者数(29) 参加者数(22) 定員充足率(73%)

【日時】12月1日(土)13:30～16:00

【対象】非正規雇用・フリーランスの40代～60代の独身で、子どものいない女性
(市内在住・在勤)

【講師】江川美保(京都大学大学院医学研究科婦人科学産科学助教)

【内容】・健康セミナー 生理痛・月経前症候群・更年期障害など女性特有の健康問題を学ぶ

・社会保障と公的支援の案内 自立相談支援員の欠席により資料配布のみ

・ゆったりカフェ 同じ悩みを持つ者同士の語り合い、講師からのアドバイス

■概要と成果

(ア)つながる相談室の実施

相談受理件数はのべ140件で、前年度より約3割減少した。特に「孤独・孤立」や「気分の落ち込み」「仕事」に関する相談内容が5～6割減少していることは、社会状況の変化によるものであると考える。

(イ)つながるスペース

・勉強会&情報交換会

女性支援新法を機に設置された「京都市女性のための相談支援センター」が果たす役割と支援メニューを紹介し、各支援団体の課題の共有と今後の連携について話し合う場を提供した。実施後は参加団体と行政機関(21団体・31名)で構成するメーリングリストを立ち上げ、運用を開始した。参加者の満足度100%(とても良かった95%、良かった5%)と高く、本事業をきっかけに支援機関がつながり、団体の広報媒体での取組紹介やイベントへの登壇等、団体間の交流もすすんでいる。各団体とも支援に役立つ情報共有や、支援の質・スキルを高める機会の継続を求めており、協働による人材育成や交流の場づくりも視野に入れたい。

・女性のための健康と暮らしの相談セミナー

参加者からは「グループトークで同じ立場の方と話せたことが良かった」「独身、子どもがいない中高年のセミナーはほぼ無かったので、またこのような企画をしてほしい」という声が多く、対象者のニーズにあった居場所を提供できた。また、女性の健康課題についての講義は、予防医学を軸に考える分かりやすい内容で満足度も96%と高かった。

ただ、今回、参加希望の問合せが多かったが、対象外の方は断った。対象をしぼることでグループトークではより深い話が出来た一方で、多くの女性が女性特有の健康課題に関心を持っているにも関わらずニーズに応えることが出来なかった。対象を広くした女性特有の健康課題の講座の開催についても検討したい。

公益2	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する相談	条項	第4号		
事業名	(3)関係機関連携／苦情・要望等処理制度の受付		事業企画課		
講座名	ア.関係機関連携／苦情・要望等処理制度の受付				
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談に関わる機関との連携により、支援機関の相互交流と、支援員の資質向上を図る ・ 京都市男女共同参画苦情・要望等処理制度の受付を行う 				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	30	10	20		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 女性のための相談ネットワーク会議(年2回)
- ・ 配偶者からの暴力に関するネットワーク京都会議
- ・ 京都犯罪被害者支援連絡協議会・性犯罪被害者対策研究分科会
- ・ 京都市域におけるDV被害者支援団体交流会
- ・ 京都ストーカー総合対策ネットワーク連絡会議
- ・ 苦情・要望等処理制度の受付

2. 事業実施における課題

各機関同士の連携強化

■実績および■概要と成果

- ・京都市保健福祉局生活福祉部生活福祉課より、「京都市くらし応援給付金に係る配偶者やその他親族からの暴力を理由に避難している旨の申出」に関し、聞き取りと確認書の発行業務を受託した。受理件数1件
- ・関係機関との連携会議は通年通り実施した。また今年度採用した相談員を対象に京都市DV相談支援センターの見学と交流会を実施した。
- ・苦情・要望等処理制度の受付 1件(問合せとして処理)

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進			条項	第5号
事業名	(1)地域コミュニティ活性化の促進事業			総務課/事業企画課	
講座名	ア.センター利用者や地域との協働事業				
目的	地域団体等と連携し地元との関わりを深めるとともに、ウイングス京都とその役割への認知度向上を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	20	5	15		

■事業の計画

1. 実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都市男女共同参画市民会議運営懇談会との連携 (男女共同参画に関する講座への参加、情報発信) ・ 地元との連携強化(高倉小学校の活動紹介(KES活動)、 夜間パトロールへの協力等) ・ センター利用者などによるロビーでの常設展示やイベントなどの開催
2. 事業実施における課題
各団体との円滑な連携

■実績

- (ア)京都市男女共同参画市民会議運営懇談会との連携
11月19日(火)京都市男女共同参画市民会議運営懇談会を開催
- (イ)京都市防災危機管理室、地域力推進室防災担当との連携
・11月9日(土)京都市総合防災訓練での啓発展示(1回)
・12月8日(日)下京区総合防災訓練での啓発展示(1回)
・京都市防災ポータルサイトへの情報提供
(KYOTOわたしの防災ノートの掲載、京都市防災パークのページにウイングス京都の防災に関する講座や発行物を掲載)
- (ウ)男性相談人材育成講座
回数(1) 参加者数(20) 会場(7) オンライン(13)
【日時】2月6日(木)13:30~16:30
【場所】京都経済センター6階 6-A会議室
【対象】男性相談に関心のある京都府内の対人援助職者及び担当者
【講師】西井開(一般社団法人UNLEARN・臨床心理士・公認心理師・京都府・京都市男女共同参画センターの男性相談員)
【内容】男性が抱える心理的課題
1部 講義(ZOOM対応あり)
2部 事例検討会(会場でのグループワーク)
- (エ)地元との連携強化
・高倉小学校の活動紹介(KES活動)
・日彰自治連合会への活動参加(夜間巡回パトロール等)
- (オ)ロビー常設展示・・・展示団体数のべ7団体

■概要と成果

- (ア)京都市男女共同参画市民会議運営懇談会との連携
京都市男女共同参画市民会議運営懇談会で、「防災と男女共同参画」をテーマに懇談と意見交換を行った。テーマの「防災と男女共同参画」に加え、女性の健康についての課題やその解消に向けた取組の方向性についての意見の一部を京都市情報館で市民に公開した。
- (イ)京都市防災危機管理室、地域力推進室防災担当との連携により、市民に向け、男女共同参画の視点を入れた防災について啓発できた。
- (ウ)京都市、京都府とも男性相談を実施していることから、府内の対人援助者及び担当者を対象として男性の支援について学ぶ機会を提供した。講義では「男性性」について基礎から系統立てて学ぶことができ、事例検討では新たなアプローチの方法で検討したことで相談者へのアプローチの幅が広がった。参加者が少なかったことについては、周知期間や、開催時間を再考する必要がある。
- (エ)日彰自治連合会の会合やパトロールに参加し連携を深めた。
- (オ)利用条件を緩和したことにより、展示団体数が前年度の2団体からのべ7団体に増加した。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	(1)地域コミュニティ活性化の促進事業	事業企画課			
講座名	イ.パープルリボンの取り組み他				
目的	「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11/12~25)に合わせて、11月をパープルリボン月間と定め、あらゆるジェンダー・セクシュアリティを持つ人への暴力根絶について市民に啓発する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	272	235	37		

■事業の計画

1. 実施内容
11月のパープルリボン月間中に、イベントや展示をとおして市民が様々な視点から、あらゆるジェンダー・セクシュアリティを持つ人への暴力根絶について考える機会を提供する
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・連携する団体との関係を維持し、広く市民に訴えることができるイベントの開催 ・マジョリティが暴力の問題を主体的に考えられる企画

■実績

<p>テーマ:そこにある“リアル”に向き合う～これから必要な変化のために～ 期間:11月1日(金)～11月30日(土)</p> <p>(ア)パープルトーク「男性の性暴力被害を“ないこと”にしない社会のために」 【配信期間】11月12日(火)～11月25日(月) ※11月10日収録 【講師】宮崎浩一(立命館大学大学院博士後期課程/臨床心理士/公認心理師) 【視聴者数】97人 【再生回数】310回</p> <p>(イ)#ウイングス京都パープルリボンキャンペーン ～フォトモザイクアートをつくろう!～ 【募集期間】10月15日(火)～11月15日(金) 【募集媒体】SNS(X、Facebook、Instagram)、メール、Googleform 【応募枚数】259枚 【完成作品公開日】12月16日(月)</p> <p>(ウ)京都市青少年活動センターコラボ企画「誰かのピンチ、あなたならどうする？」 レッツ“5D”アクション!カードガチャ」 【日時・場所】 11月16日(土)15:00～16:00(京都市伏見青少年活動センター)定員なし 参加者数(17) 11月21日(木)16:30～17:30(京都市中央青少年活動センター)定員なし 参加者数(9) 【対象】中学生～30歳</p>
--

■概要と成果

- (ア) 男性の被害の実態と不可視化の構造に存在する性差別の問題を明らかにし、性暴力を“ないこと”にしない社会の実現に向けたオンライン講演を実施した。全国から97名が視聴、アンケートの満足度は97%と高く、男性の性被害への関心の高さが伺えた。録画配信後に参加者が考えた「性暴力のない社会のためにできること」をまとめ、SNS等で公開した。男性の性被害の不可視化に作用するジェンダーの意識について、思考を促す機会を提供できた。
- (イ) SNS・メールで「あなたの身近にあるパープルのアイテムの写真」を募り、パープルリボンをモチーフにしたフォトモザイクアートを作成し、HPやSNSで公開した。ウイングス京都になじみがない市民も参加できる企画として実施し、ウイングス京都の利用者の家族や知人が企画に賛同して作品を応募した方も多くみられ、本企画の目的にかなうものとなった。
- (ウ) 第三者介入の手法「5D」を学べるカードガチャを使用したワークショップイベントを市内の青少年活動センター2カ所で実施した。カードを参加者と読み合せ“ハラスメントや暴力が起きそうな場面において第三者としてどのような行動ができるか”を考えた。カードの事例を自分ならどのように介入できるかを真剣に考え、熱心にワークに取り組む参加者が多かった。初めてウイングス京都以外の会場での実施となり、協働の幅が広がるコラボレーションとなった。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	(2)人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	ア.市民活動サポート事業				
目的	男女共同参画社会の実現に向けた取組や企画をもつNPOやグループに対し、 助成を行い、地域における男女共同参画の推進を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	338	288	50		

■事業の計画

1. 実施内容

男女共同参画の推進に関わる活動をしているNPOやグループなどの企画に対し助成し、男女共同参画の実現を目指す多様な事業をサポートする

2. 事業実施における課題

- ・ 市内のNPOやグループの発掘と対象者への効果的な広報
- ・ サポート団体の企画実施に向けた適切な支援

■実績

応募のあった5団体のうち、2団体に助成を行った。
 (ア)NPO法人 使い捨て時代を考える会 122,000円
 (イ)カポエイラ・アンゴラ グループ インジंगा京都 156,000円

■概要と成果

(ア)おうちでの性教育ワークショップ

回数(5) 会場 各定員(25) のべ参加者数(37) 充足率29%

オンライン 定員(100) のべ参加者数(85) 充足率17%

合計のべ参加者数(122)

【対象】性教育に関心がある方

第1回 小学校における性教育の実態と問題点

【日時】9月21日(土)13:30~15:00

【講師】脇本薫(助産師)

第2回 中学校での性教育の実践

【日時】10月26日(土)13:30~15:00

【講師】三薺なつ美(京都市立中学校教諭)

第3回 親子で性のお話をするためのヒント

【日時】11月10日(日)10:00~11:30

【講師】渡邊安衣子(助産師・看護師)

第4回 思春期の子どもたちへの性教育

【日時】12月1日(日)13:30~15:00

【講師】山本太郎(学校法人自由学園学園長補佐)

第5回 性とジェンダーの多様性 アメリカから

【日時】12月7日(土)13:30~15:00

【講師】佐久間裕美子(コラムニスト)

※第1回~第4回はウイングス京都、第5回のみ使い捨て時代を考える会事務所で実施。

【内容】

第1~4回は幼児から高校生までの教育現場で携わる方を順に講師に迎え、学校での性教育の実践や親や子の悩みなどを解説し、第5回では、アメリカの事例をもとにLGBT等、性の多様性への理解を深める講義を行った。参加者は教育現場に関わっている方が多く、質疑応答でも具体的な質問が多かった。各年齢ごとの子どもへの教え方について学ぶとともに、教育現場での性教育の難しさについて意見交換する機会を提供できた。

(イ)伝統のなかで考える男女平等性 ~カポエイラ・アンゴラからの考察~

回数(1) 定員(40) 参加者数(37) 充足率(93%)

【対象】テーマに興味がある方

【日時】10月27日(日)13:30~16:30

【講師】ホザンジェラ・コスタ=アラウージョ 通称ジャンジャ

(ブラジル バイーア州立連邦大学教育学准教授・カポエイラ師範)

ルーナ・フェヘイラ 通称ブルーナ(カポエイラ準師範・文化活動家・音楽編曲家)

【インタビュー】下郷さとみ(フリージャーナリスト・通訳)

【内容】体験型ワークショップ「音楽と動きによる解放」と講義「伝統のなかで考える男女平等性」を行った。ワークショップでは、参加者は、音楽に合わせてカポエイラ・アンゴラの動きをしながら、踊りを通して他者とコミュニケーションをとり、自らの意識の変化を体験した。また講義では、伝統は社会の貴重な遺産であるが、女性をはじめ多くの人々を規定された役割へ押し込める強制力もあること、伝統の継承と刷新の葛藤を知り、伝統との関りを再考することを学んだ。また、伝統に立脚した社会そのものも強制力を持つため、身の回りのジェンダー問題に気づき、意識を変化させていくことの重要性について考えた。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	(2)人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	イ.防災リーダー育成事業				
目的	防災分野で男女共同参画の視点を持って活躍できる人材を育成する				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	310	23	287		

■事業の計画

1. 実施内容

防災に関わる団体と連携し男女共同参画の視点で防災、復興について学ぶとともに、地域で「きょうとみんなの防災カード」を活用できるようにする

2. 事業実施における課題

- ・防災関連団体を巻きこんだ啓発の機会の創出
- ・地域での「きょうとみんなの防災カード」の普及促進

■実績

(ア)京都市総合防災訓練

市民防災啓発ブース出展「男女共同参画の視点で災害に備える」

【日時】11月9日(土)11:00~15:30

【会場】岡崎公園周辺

【内容】『きょうとみんなの防災カード』を使った参加型展示

【対象】京都市民

(イ)下京区総合防災訓練

市民防災啓発ブース出展「男女共同参画の視点で災害に備える」

【日時】12月8日(日)9:30~11:30

【会場】梅小路公園・芝生広場野外ステージ周辺

【内容】『きょうとみんなの防災カード』を使った参加型展示

【対象】下京区民

(ウ) 社会福祉協議会研修

「女性の視点を取り入れた避難所運営」

【日時】11月30日(土)14:00～16:00

【会場】榎原小学校

【内容】講義と意見交換:ジェンダーや立場の違いに気づく/多様な人々の視点を活かした地域の防災対策/女性の視点で災害に備えるために

【対象】榎原社会福祉協議会委員および地域住民30名

(エ) 地域子育て支援ステーション研修

「男女共同参画の視点で災害に備える」

【日時】2月25日(火)10:00～12:00

【会場】桂徳児童館

【内容】講義と防災カードワークショップ

【対象】地域役員等7名

■ 概要と成果

総合防災訓練の展示では、参加者が掲示された「防災カード」の問いに向き合い、自身の意識や地域の状況について話し、それぞれに必要な情報を得ていただくことができた。市民対象の講座では、職員が男女共同参画の視点から災害時の課題を伝え、『きょうとみんなの防災カード』を使って、地域の備えや避難所運営について意見交換を行った。ほとんどの市民が「男女共同参画の視点の避難所運営ガイドライン」の存在を知らず、行政職員への働きかけが重要であると感じる。アンケートの満足度・理解度ともに(ウ)93% (エ)100%と好評であった。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進	条項	第5号		
事業名	(2)人材・団体育成事業	事業企画課			
講座名	ウ.共催・後援事業／エ.講座受講者の相互交流				
目的	ウ.男女共同参画推進に関わる事業等を実施する機関やNPOと協働し、会場提供や広報協力を通じて事業の推進を支援する エ.講座受講者間の相互交流を支援する。				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	88	80	8		

■事業の計画

1. 実施内容

- ・ 男女共同参画社会の実現に向けた企画について共催・後援を行う
- ・ LINEオープンチャット等により受講者間の交流や情報共有を行う

2. 事業実施における課題

- ・ 協働団体との連携
- ・ オープンチャットの円滑な運用

■実績

- ・ 共催事業 2件
 - (ア)「LEO-Gフォーラム1st～ジェンダーdeあつまれ～」
 - 【主催】一般社団法人 LEO-G
 - 【日時】6月28日(金) 11:00～21:00
 - 6月29日(土) 9:00～21:00
 - 6月30日(日) 9:00～16:00
 - のべ参加人数(121)
 - (イ)「子育てパパ&ママのためのお金の話～『夫婦会議®のすすめ』～」
 - 主催:Life Design Works
 - 日時:10月5日(土) 10:00～11:30 参加者数(4)
- ・ 後援事業 なし
- ・ オープンチャット等による情報共有
 - 「大人だって分からない?!子どもたちの“性”の疑問にどうこたえる? ワークショップ ～避妊編～」にて運用
 - 【日時】7月13日(土)14:00～16:00、27日(土)14:00～16:00
 - チャット参加者(16)

■概要と成果

・市民活動サポート事業に採用された実績がある団体と、他都市で子育て世代の夫婦向け講座の実績がある2団体と共催した。

(ア)創成期の女性センターで活動した方、現センター職員、女性支援のNPO運営をされる方など、全国から経験豊かなメンバーが集まる中、ウイングス京都の講座や図書情報室の利用者も多く参加された。イベントをきっかけに利用者同士が語り合い、つながる姿も見られ、有意義であった。

(イ)子育て世代の夫婦を対象としていたにもかかわらず、保育が付けられなかったためか、申込みが伸び悩んだ。保育付きが相応しい事業については、何らかの条件で保育を提供できるよう検討したい。

・オープンチャット

講座の参加者のべ54名の内、16名がチャットに参加。参加者同士の活発な意見交換は見られなかったが、協力いただいた講師の講演会などの情報共有を行った際には16名全員の既読があったことから、関心のあるトピックごとに情報を届ける媒体としては有効だと感じる。活発なやり取りを促すためには、運用担当者の広報知識や発信の仕方に工夫が必要だと感じた。

公益3	(単位:千円)				
定款	男女共同参画に関する市民の活動の支援 及び相互交流の促進		条項	第5号	
事業名	(3)京都市男女共同参画センターの目的利用 団体に対する施設管理業務		総務課		
目的	京都市の指定管理者として、京都市男女共同参画センターの施設管理業務を 円滑に行い、男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気ある センターを目指す				
	予算額	執行額	増減	会計	公益目的事業
事業費	36,755	34,409	2,346		

■事業の計画

1. 実施内容
<p>(ア) 施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市男女共同参画センターの施設・設備の維持管理 <p>(イ) 男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体の育成、支援のため、 目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行う</p> <p>(ウ) KES環境マネジメントにおける環境改善(目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンタクト空ケース回収(HOYA株式会社と連携) ・紙の使用(A4用紙) 基準年比100%未満 ・環境保全 近隣の高倉小学校と連携し環境保全に努める 同校の保全活動を紹介し、施設利用者への啓発を行う <p>(エ) サービス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性に配慮した予約方法の検討と実施 ・より使いやすい施設利用の検討及び実施 <p>(オ) 危機管理・消防訓練・防災計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の実施と、防災マニュアルの適宜見直し ・避難所・妊産婦等福祉避難所開設の準備(行政・自治連合会との連携、 訓練への参加・備蓄品の保管等)
2. 事業実施における課題
<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全な利用環境に向けた修繕箇所のチェックと提案 ・利用者の利便性に配慮したインターネットによる施設予約方法の確立

■実績

- (ア) 京都市男女共同参画センターの施設・設備の維持管理のための保守点検・修繕を行った。また、大規模な修繕については、京都市へ報告、修繕の依頼を行った。整備工事に伴う一部施設の閉鎖や、入り口、通路の変更に対応した。
- (イ) 男女共同参画社会実現の目的に即して活動する団体を育成、支援するために、目的利用団体として登録し、優先的に施設の貸出しを行った。
＜目的利用登録団体数＞ 42 団体（前年度:46団体）
＜目的利用事業数＞ 6 件（前年度:2件）
- (ウ) KES環境マネジメントにおける環境改善(目標)
省資源化
・コンタクト空ケース回収 目標達成率 453.7%
・紙の使用(A4用紙) 基準年(前年度)比 122.7%
啓発活動
・近隣の高倉小学校の「ヒオウギ」を育て守る活動を紹介し、施設利用者への環境保全への啓発を行った。
- (エ) サービス向上
一般利用団体新規登録の拡大に向け、対象となる団体(17団体)に案内を配布し、応募があった団体(12件)の新規登録を行った。(全123団体)
- (オ) 危機管理・消防訓練・防災計画
・京都市ユースサービス協会と連携し、普通救命講習を実施した。

■概要と成果

- (ア) 設備、機器の保守・点検を行い、必要に応じて修繕を行った。整備工事については、入り口、通路の変更等に伴い、利用者が安全・快適に利用できるように、スロープの設置等適切に対応した。
- (イ) 今年度も高齢化等により解散する団体があり、目的利用登録団体数が減少した。新規登録団体の獲得が今後の課題である。
- (ウ) 確認審査合格
- (エ) 一般利用団体のうち、登録要件を満たす新規の団体に対し登録カードを発行し、利便性の向上につなげた。
- (オ) 新任職員への避難経路、防災設備の説明と、全職員対象の普通救命講習を実施した。

収益	(単位:千円)				
定款	収益事業				
事業名	京都市男女共同参画センターの目的利用 団体以外に対する施設管理業務		総務課		
目的	京都市の指定管理者として、京都市男女共同参画センターの施設管理業務を円滑に行い、男女共同参画の推進拠点として市民の生活に根差した活気あるセンターを目指す				
	予算額	執行額	増減	会計	収益事業
事業費	61,413	58,589	2,824		

■事業の計画

1. 実施内容

- (ア) 施設の維持管理(再掲)
- (イ) 目的利用以外の団体に対し、施設の貸出しを行う
- (ウ) KES環境マネジメントにおける環境改善(目標)(再掲)
- (エ) サービス向上(再掲)
- (オ) センターの認知度向上
SNSを使った広報の充実(Facebook・X・note等の活用)
- (カ) 危機管理・消防訓練・防災計画(再掲)

2. 事業実施における課題

利用者の利便性に配慮したインターネットによる施設予約方法の確立

■実績

- (ア) 施設の維持管理(再掲)
- (イ) 施設利用率(日数利用率) 78.2% * 一部閉鎖中の施設を除く。
入館者数 357,901人
<別紙5-1>「2024年度 京都市男女共同参画センター利用状況」(p.66)
<別紙5-2>「2024年度 京都市男女共同参画センター利用状況(時間帯別)」
(p.67)
- (ウ) KES環境マネジメントにおける環境改善(目標)(再掲)
- (エ) サービス向上(再掲)
- (オ) 事業や施設に関する情報をSNSで発信し、センターの認知度向上に努めた。
- (カ) 危機管理・消防訓練・防災計画(再掲)

■概要と成果

大規模整備工事に伴い、臨時休館や一部施設の閉鎖を行った。引き続き安全・快適な環境整備に努め、利用者の獲得を目指す。

法人	(単位:千円)				
定款	財団運営				
事業名	経営管理、組織・人事管理		総務課・事業企画課		
目的	評議員会、理事会の決定に基づいた運営を行い、柔軟な組織体制と安定した経営基盤の強化を図る				
	予算額	執行額	増減	会計	法人会計
事業費	8,644	9,956	△ 1,312		

■事業の計画

1. 実施内容

- (ア) 評議員会・理事会の開催・運営
- ・ 評議員会 年1回 6月
 - ・ 理事会 年2回 5・3月
 - ・ 業務執行理事会 年2回 5・3月
- 各会議は上記以外に臨時に開催する場合もある
- (イ) 組織 別紙1
- (ウ) 指定管理に関する業務
- ・ 情報公開
 - ・ 個人情報保護の取り扱い
 - ・ センターの運営に関する京都市との協議・調整
- (エ) 人事・労務・研修
- ・ 職員研修の実施
 - ・ 人事評価制度の適正な実施
 - ・ 適正な労務管理
- (オ) 公益法人に関する業務
- ・ 事業計画、事業報告の提出

2. 事業実施における課題

施設の今後を見据えた業務執行体制の検討と人材育成

■実績

- (ア) 評議員会・理事会の開催・運営
 - ・ 評議員会 6月20日(木)
 - ・ 理事会 第1回 5月24日(金)
第2回 3月28日(金)
 - ・ 業務執行理事会 5月13日(月)、3月13日(木)
- (イ) 組織 <別紙6>「組織体制」(p.68)
- (ウ) 指定管理に関する業務
 - ・ 情報公開 6件
 - ・ 個人情報保護の取り扱い 問題なく運用
- (エ) 人事・労務・研修
 - ・ 人事評価 2023年度後期 2024年5月実施
2024年度前期 2024年11月実施
 - ・ 研修
<別紙7>「2024年度研修一覧」(p.69.70)
- (オ) 公益法人に関する業務
 - ・ 2023年度事業報告 6月28日提出
 - ・ 2025年度事業計画 3月28日提出

■概要と成果

2024年2月に退職した職員1名の欠員補充として、嘱託職員の募集を行い、2025年4月から採用する事となった。

法人	(単位:千円)				
定款	財団運営				
事業名	財務運営		総務課・事業企画課		
目的	収益の安定と収支相償				
	予算額(再掲)	執行額	増減	会計	法人会計
事業費	-		-		

■事業の計画

1. 実施内容

収益の安定

- ・ 貸会場の稼働率の回復
- ・ オンラインを活用した自主事業の充実
- ・ 発行物の販売等による収益確保
- ・ 京都市、他都市や企業・大学からの事業の受託
- ・ 補助金・助成金等の積極的活用
- ・ 寄付金の増収のための広報、営業

2. 事業実施における課題

- ・ 施設老朽化への対応
- ・ 施設稼働率向上のための取組み
- ・ 事業収益の拡大
- ・ 寄付金の増収
- ・ 収支の均衡

■実績

- ・ 施設利用
日数利用率 78.2% *一部閉鎖中の施設を除く
- ・ インターネットを活用した事業展開により、収益の確保に努めた
自主事業(ジェンダー論基礎講座)の配信
ECサイトによる発行物等の販売
(ジェンダーハンドブック、きょうとみんなの防災カード)
- ・ 他機関からの事業の受託
不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業(京都市)
佛教大学ハラスメント相談業務(佛教大学)
大津市男女共同参画センター電話相談業務(大津市)

■概要と成果

整備工事、京都市からの受託事業の減少等の影響で、昨年度よりも赤字額が増加した。今後も、厳しい経営が予想されるが、収益の確保に努め、収支均衡に近づけていきたい。